

# Harmony

## 模擬原爆について…

先週の金曜日、中学生になって初めての平和学習をしました。小学生の時にも平和学習はしてきたし、知識としては知っていることもたくさんあります。今回は、私たちの住んでいる大阪でも、原爆を落とす練習がされていたことを学びました。「知らなかった」と感想に書いている人も多かったですが、まだまだ知らないことがたくさんある、経験者は少なくなってきたから自分たちが知って伝えていかなければ…とたくさんの方が感想に書いていました。振り返りの裏にまで、いっぱいいっぱい自分たちの思いを書いていて、読んでいて涙がでるほど心に響きました。

講話の最後に宮本先生が言っていた「見て、聞いて、感じて、考えて」いくことが大事だというお話は、全ての学びに繋がっていて、素直に受け取ってほしいと先生たちは思っています。学校では、平和学習・人権学習・道徳・性教育など、教科ではない学習もたくさんしていきます。どれだけ自分事と捉えて、考えて、伝えて、周りに優しくして、行動につながるかをこれからも考えていきましょうね。

### 振り返りからの抜粋

【「平和」のためにこれから私たちにできることは何だろうか？】

- 僕は、学校での小さなケンカでも醜い戦争だと思っています。戦争を僕たちが終わらせることもできていないので、いじめやケンカを日常生活で止めたら地球はもっと平和になると思いました。
- 昔にあったことを知るだけじゃなくて私たちが伝えていかないといけない。身近な争いやケンカなどを暴力で解決するんじゃなくて言葉で解決できるようなクラス・学校にしたい。

【今回の学習を終えて…】

- 小6の時にも考えた平和学習での学びをこの時間さらに新しい知識を身につけることができた。広島での原爆のインパクトが大きすぎて、その背景にある悲惨な出来事を知らなかった。…中略…私はこれが許されることに疑問を持たなきゃいけないし、次それが起ころうとしたときに止めなければならない。
- 大阪に原爆が落ちたことを聞いたことがなかったから、かなり驚いた。原爆を落とすための練習に人を殺すというのはちょっと違うだろうと思った。
- 今までたくさんの苦しい思いや悲しい思いをしてきた人が受け継いでくれたバトンのおかげで、今私たちが生きていることはとてもすごいことなんだろうと思ったし、今私たちが生きていることは奇跡だったんだと改めて思いました。
- 戦争は何をしても許されて、練習なだけで人を殺して最悪だと思った。原爆は知っているけど、模擬原爆は知らなくて人が亡くなっているからしっかり知らないとなって思った。
- 6年で戦争のことを学んで少し時間が空いて、平和に対する意識が下がっていたけど、今日の授業で戦争に対する見方が戻った気がする。…中略…戦争のことを思い出したから小さな悪口もやめようと思った。戦争についてもっと知ろうと思った。
- 私たちが生まれてこれたのも、戦争を乗り越えた人々がいたからで、日常的に学校に行ったり、おいしいご飯を食べたり、自分が今を生きていること、今の私たちの日常が当たり前ではないことに気づいた。
- 日々、中東の戦争をニュースで見るとなぜ戦争はおわらないのだろうかと思う。各国の首脳は平和を口にしますが世界は平和に向かっていない。むしろ80年前に逆戻りしているのではないだろうか。この世界に平和がおとずれ、兵器による死傷者がなくなることを願い、日々行動していきたいと思う。
- 毎日は絶対に「平和」ではない。僕たちの時代では絶対に日本に戦争をさせないようにします。そして、世界中から戦争を経験して悲しい思いをする人がいなくなるように頑張ります。